

# 令和2年度社会福祉法人えぼっく事業報告書

## 1 はじめに

法人の役職員数も150名を超え、地域の福祉課題にこたえるべく法人の業務範囲も年々拡大してきています。一方、コロナ禍における感染予防対策に明け暮れた1年でもあり、中長期的な視点での法人の各種体制の整備については先送りした部分もありました。しかし、コロナ禍ではありましたが、積極的な人材の中途採用や事業展開も行い、コロナ終息後にむけての先行的な人材の確保や新規事業の着手をすすめた1年でもありました。

コロナ禍における法人の感染症対策は、各事業所の委員が主体となった感染症対策委員会が中心となり、法人内に新型コロナウイルスを持ち込まないためのガイドライン策定や、法人の感染症対策のルール策定等に取り組みました。対面による会議や行事が実施しづらい1年でしたが、一方で、Web会議や研修の浸透、コミュニケーションツールの業務面での取り入れの検討等をすすめました。

令和元年9月に着工した障がい者グループホームのともっと2号館は令和2年6月に竣工し、通所者だけではなく、北広島市内の入居相談などにも対応し年度内に満床となり稼働しています。障がい者グループホームの入居者の余暇の外出においても、緊急事態宣言が解除された期間などにおいて十分な感染予防策などを講じて、出来る限り入居者が窮屈な思いをしないように取り組んできました。ともっとのグループホームにおける高齢入居者の看取りケアを行いました。

また、認知症グループホームにおいては、身体拘束ゼロに向けて、定期的に研修を実施し、日々の業務の振り返りを行いました。さらに利用者の健康管理では、関係医療機関と連携を取り、早期発見、早期治療に努めました。

通所事業においては、緊急事態宣言下においても、事業所内の感染予防対策を行いながら、法人の感染予防のルールを各ご家庭にもご協力を仰ぎながら、自主休業することなく開所することができました。

きたひろしま暮らしサポートセンターぼるとにおいては、コロナ禍の影響下、前年度に比べ、住居確保給付金の申請や貸付・就労相談の増加で大幅に相談件数が増加しました。また、中学生への学習支援においては、オンライン学習を実施するなど、対面以外の学習方法を取り入れました。

法人内での相談支援事業の経験をもとに、社会福祉士等国家資格所持者の活躍の場をよりいっそう広げるために、札幌市の委託相談関連事業（札幌市障がい者相談支援事業、夜

間休日虐待通報等受付・緊急受入先調整一時保護業務、札幌市ぬくもりサポート事業を札幌市の公募型企画競争に応募し、受託することが出来、令和3年度からの事業開始に向け準備をすすめました。

これまでも実施していたフードバンク事業について、新たに「フードバンクぼすこ」を立ち上げ本格的活動をはじめました。千歳のフードバンクの協力や、市内の企業・農家さんなどの協力により継続して実施しています。コロナ禍において、緊急に食料支援を希望する方も増加しています。食料配布にとどまらず、この困難な状況下での複雑化した課題への相談対応が求められているケースが多く、えぼっくの各事業と連携をしながらすすめました。

さらに居住支援法人業務事業所えぼっくを立ち上げ、えぼっく内の相談事業等とも連携し、居住に困難をかかえる障がい者・高齢者・生活困窮者・外国人等への居住にかかる相談と支援に取り組みました。

## 2 南幌地区（ハニカム）

### <生活介護>

- ・現在行われている作業内容や作業工程を細分化させて、利用者一人ひとりが関わることのできる作業内容の工夫に力を入れた。また令和3年のカレンダーを作成にあたっては、今年度はじめて計画的に紙漉き作業を行い、手漉きの紙を使ってカレンダーを制作した。手漉きのカレンダーにはイラストを書き込み、利用者に折り紙や色鉛筆などを使って塗って頂いた。
- ・新型コロナウイルス感染症により、日中活動に制限を課さなければいけない中、利用者・職員の感染症対策の見直しを行い、利用者もマスク着用や手洗いができるように、支援内容の統一を図った。
- ・町内の公共施設を利用しての運動に関しては、新型コロナウイルス感染対策で公共施設の利用ができない時期もあったが、人込みを避けて、町内の散策やハニカム内で音楽をかけて体を動かす時間を設定した。
- ・家族によって、服薬を保管するケースが異なり服薬ミスにつながる恐れがあるため、事業所で服薬保管ケースの統一、お薬情報に利用者の顔、服薬の写真を載せて、服薬管理の見直しを図った。
- ・職員会議の中で、作業内容や工程の見直しを行い、一日のスケジュールや個別での作業内容を確認できるよう、写真などを用いて情報提供を行った。また、利用者の状況の変化についても話し合い、支援内容の統一やハニカム内の環境整備などについても話し合い、利用者一人ひとりのスペースを確保できるように努めた。

### <物販活動>

- ・新型コロナウイルスのため、町内外のイベントが中止となり、物販活動はできていない

が、Facebook や家族向けのチラシなどを活用し、令和3年カレンダーを販売した。

<余暇活動等>

日時	内容	実施場所
令和2年4月28日	お花見（ドライブ）	栗山方面
令和2年5月23日	ドライブ	恵庭方面
令和2年6月25日	ドライブ・プラスチック敷板作り	千歳方面 ハニカム
令和2年7月23日	ドライブ・スイカ割り・カキ氷作り	北広島方面 ハニカム
令和2年8月20日	流しそうめん	ハニカム
令和2年9月24日	ドライブ・貼り絵	恵庭方面 ハニカム
令和2年10月29日	紅葉ドライブ・ワッフル作り	栗山方面 ハニカム
令和2年11月26日	ドライブ・パフェ作り	長沼方面 ハニカム
令和2年12月24日	クリスマス	ハニカム
令和3年1月28日	豆まき	ハニカム
令和3年2月25日	ひな祭り	ハニカム
令和3年3月25日	ドライブ・お菓子パーティー	長沼方面 ハニカム

<日中一時支援>

- ・主として生活介護利用者向けに生活介護終了後に日中一時支援を実施した。

### 3 北広島共栄・恵庭地区（ホホエム）

<生活介護・就労継続支援B型>

（生活介護）

- ・自閉症スペクトラム症利用者の支援、発達障害の基礎知識について外部の機関の支援を受けた事を日中活動に取り入れボードを活用し一日の活動内容を作成し提示を行った。
- ・日常活動では新型コロナ対策として利用者様、職員の感染症対策の見直しを行い活動空間にアクリルボードを設置し、換気、手洗い、消毒、マスクの着用する事で感染対策を行い作業活動に取り組んだ。小物作り、紙すき作業、シュレッター作業を行い、新たな作業としてお面作りを取り入れ活動の幅を広げ行っている。
- ・月に一度の平日の余暇活動日には、調理や、ドライブや散歩など利用者様の楽しめる活動を取り入れ平日とのメリハリを持ち取り組んだ。

（就労継続支援B型）

- ・就労継続支援B型において作成した小物を喫茶れざみにて販売を行った。
- ・喫茶れざみにて開店前の時間を使いマナーや挨拶の練習など職員と共に取り組んだ。接客

業務にも積極的に行って頂きオーダー取り、食事を運ぶなどの接客業務、スープ作り、サラダ作りなどの調理補助、清掃業務を行っている。

- ・喫茶れぞみのメニューでは週替わりメニューや期間限定メニューを工夫した。定期的に来店される顔なじみのお客様も増えてきている。

#### <余暇活動等>

日時	内容	実施場所
令和2年4月23日	創作活動（お菓子作り）	ホホエム
令和2年5月28日	創作活動（石鹸作り）	ホホエム
令和2年6月23日	ドライブ（千歳空港）	千歳空港
令和2年7月28日	ハイキング（昼食購入）	北広島町内
令和2年8月25日	水遊び・スイカ割り	ホホエム
令和2年9月22日	創作活動（ガラスコースター）	ホホエム
令和2年10月27日	ハイキング（昼食購入）	北広島町内
令和2年11月24日	ドライブ（モエレ沼公園散策）	モエレ沼公園
令和2年12月28日	調理（ケーキ作り）	ホホエム
令和3年1月26日	雪遊び・アイスクャンドル作り	ホホエム
令和3年2月23日	調理（桜餅作り）	ホホエム
令和3年3月10日	調理（フルーツサンド作り）	ホホエム

#### <短期入所>

- ・通所利用者や北広島市内の障がい者の利用希望に対応した。また、緊急対応についても、できるかぎり対応した。
- ・短期入所利用時の様子について書面にて情報提供し引き継ぎを行った。

#### <日中一時支援>

- ・北広島市内の利用者の入浴サービスなど継続して行った。
- ・通所利用者のご家庭事情で生活介護の通所終了後の時間帯の一時的な預かりに柔軟に対応する事が出来た。

## 4 地域生活支援センター（ともっと・あざれあ・てとる）

### 4-1 ともっと

#### <共同生活援助>

（地域生活支援センター）

- ・令和2年4月にご家族向けの入居説明会を実施、6月にともっと2号館を開設し、6ホーム（北広島市に3カ所、恵庭市に1カ所、南幌町に2カ所）で入居定員47名、短期入所定員2名とした。

- ・新型コロナウイルス感染防止対策として、入居者の通所先の一本化や外出の自粛、手洗いやホーム内消毒の徹底などをし、感染拡大防止に努めた。

#### (とともと1号館・2号館)

- ・6月にとともと2号館（男性入居定員12名、短期入所定員2名）を開設し、待機していた入居希望者様の要望に応えることができた。また、既存のグループホームを利用されている肢体不自由のある利用者様に、バリアフリーのとともと2号館へ引っ越しをして頂いた。
- ・慢性疾患により終末期となり、訪問診療や訪問看護を受けながら療養されていた利用者様の看取りをグループホームで行った。

#### (あっと・もっと)

- ・あっとでは、特別支援学校高等部より新卒の入居希望者を受入れた。また、設備としては乾燥機が経年劣化の為、新規に入替をした。
- ・もっとでは、入居者の薬のストックや書類を保管するキャビネットを新たに購入し、環境改善を行った。

#### (ソレイユ)

- ・毎月、入居者とホームミーティングを実施し、余暇や生活課題について話し合いをし、生活の楽しみの幅を拡げ、感染症対策について理解を深めた。

#### (きらっと)

- ・はまなす食品能力開発センター訓練生を2名受け入れ、生活支援を行った。1名は地元に戻り就職し、1名は近郊で就職しグループホームから通勤する事となった。

#### (避難訓練)

- ・地震、洪水など自然災害や夜間帯を想定した避難訓練を実施し、ホーム内の避難経路の確認、避難所へ実際に避難し経路を確認するなど、防災に対する意識を高めた。また、職員は通報訓練や消火訓練を行い、緊急時の対応が確実に取れるよう訓練した。

## 4-2 あざれあ

### <特定相談支援・障がい児相談支援>

- ・登録者は102名で、計画作成のべ86名、モニタリング作成のべ189名となっている。
- ・主な対象は、北広島市内の障がい児者とえぼっく利用者で、法人内各事業所との連携や北広島市内の他事業所との連携を図るよう努めた。
- ・モニタリング時期や必要に応じてケア会議、サービス調整会議等を開催し、利用者の現状把握、支援の方向性について確認し、また各関係機関との連携をより強化できた。

#### 4-3 てとる

##### <居宅介護・重度訪問介護・行動援護・移動支援>

- ・通所利用者、グループホーム入居者などの余暇支援を近隣の感染状況などを勘案しながら、外出先の選定や感染予防策を講じながら継続的に実施した。
- ・身体介護、通院介助などの支援についても継続的に医療機関への通院を実施し、健康状態の確認をして家庭やグループホームと連携した。

## 5 北広島団地地区（ほこしあ・フクラム）

### 5-1 グループホームほこしあ

#### <認知症対応型共同生活介護>

- ・緊急時、事故発生時等の対応として、現場に沿って色々な場面をシミュレーションし、リスクの確認、対応の検討など内部研修を実施してきた。
- ・コロナ禍において、消毒や換気の徹底、一人一人の行動確認等、繰り返し研修を行い、介護従事者としての意識を高め、感染症拡大防止に努めた。
- ・身体的拘束等の適正化への取り組み強化では、定期的に研修を実施し、日々の業務の振り返りを行った。
- ・利用者へのケア向上に向け、情報を共有し、きめ細やかなケアが出来るよう、毎月の職員会議の中で個別カンファレンスを実施した。
- ・利用者の健康管理では、関係医療機関と連携を取り、早期発見、早期治療に努めた。
- ・行事やレクリエーションでは、外出ができない中ホーム内で、開催内容や行事食の形態を工夫し、感染対策に考慮し実施出来た。
- ・外部研修や運営推進会議、ご家族や地域との交流等、コロナ禍において実施する事が出来なかった。
- ・運営推進会議については、コロナ感染症拡大防止対策のため、開催は自粛し、月次の報告書を作成している。

#### <ほこしあの行事>

開催日	催事等内容
令和2年8月1日	ほこしあ夏祭り
令和2年9月19日	敬老会
令和2年10月2日	紅葉ドライブ
令和2年12月26日	年末お楽しみ会
令和3年1月1日	新年を祝う会
令和3年2月2日	節分豆まき・鍋パーティー
令和3年3月3日	ひな祭り

### 5-2 フクラム

#### <生活介護>

- ・主として重症心身障がい者、肢体不自由者を受け入れ入浴サービスや、ご家族とも連携をとり利用者の身体の機能維持に重点をおいて個別の時間を活動に取り入れた。
- ・天候の良い日などは散歩やドライブなど日中の活動に取り入れ行った。

#### 5-3 きらっと

##### <短期入所>

- ・きらっとの短期入所事業については、令和2年6月よりとっとり2号館短期入所開設や、ホホエム短期入所事業での対応が可能であったため、令和2年5月から休止しており令和3年3月31日をもって事業を廃止した。

## 6 室蘭地区（八丁平共生型センターはっち）

#### 6-1 ろぐらん

##### <生活介護>

- ・支援計画に身体機能の維持を図る項目を作り、個々に合わせたケア（体の機能維持やマッサージ等）に取り組んできた。
- ・感染症委員会でのルールを遵守し館内設備の消毒の徹底や、手指消毒に関して外来者を含めての徹底を意識して支援にあたった。
- ・経管による胃瘻を必要とする方には、看護師の他3号研修を修了した職員が引き続き、ケアを行っている。現在看護師のみが対応している医療的ケアの必要な利用者を対象に、3号研修による喀痰吸引の実施が出来る様準備を進めている。

##### <日中一時支援>

- ・室蘭養護学校の生徒に送迎サービスを含め対応している。

#### 6-2 らんらん

##### <居宅介護・重度訪問介護・移動支援>

- ・重度訪問介護、居宅介護は、共同住宅「がだばーと」の入居者への支援を中心に行っている。生活の場としてリラックスして過ごす時間と意識しながらも、身体介護研修を継続しながら、入居者の身体状況に応じたケアに努めている。夜間支援を中心に行っているが、食事の提供などは家族が行っており、家族の高齢化が今後の課題になっている。
- ・移動支援は感染予防策を講じながら、プールや温泉に同行の外出支援を行った。

## 7 きたひろしま暮らしサポートセンターぽると（北広島市委託事業）

##### <生活困窮者自立相談支援>

（自立相談支援事業）

- ・新規相談が270件で、前年度より150件増加した。終結件数を除いた継続支援中のケース

は 465 件。

- ・支援プラン作成は 77 件、就労者数は 32 件、増収者数は 4 件となっている。支援件数は面談 1,181 件、訪問 941 件、関係機関との連携 2,301 件となっている。特に面談件数は令和元年度に比して 2.24 倍となっており、住居確保給付金の申請や貸付相談の増加が影響している。
- ・令和 2 年度の相談内容件数（重複有）としては、家計・経済に関する支援 4,646 件、就労に関する支援 2,956 件、福祉制度の情報提供や手続きに関する支援 1,012 件となっている。相談者の生活課題の解決には長期的な視点に加え、新型コロナ禍における生活スタイルをいかに構築していくか（家計のやりくり、転職など）が相談支援のポイントとなっている。
- ・新型コロナウイルスに関連した生活困窮の相談件数としては、その影響による休業・失業・減収に起因する困窮に関する相談、それらに対応するため住居確保給付金や社会福祉協議会の特例貸付に関する相談など、184 件であった（令和 2 年度新規ケース実績）。
- ・ぼるとにおいて土曜相談（第 1 土曜日 8:45～12:00）を開催し 3 件の相談があった。また、大曲・西の里の 2 地区で出張相談（不定木曜日 13:00～15:00、17:00 から 19:00）を隔月で開催したが、相談はなかった。
- ・ぼるとの名を、広報誌や HP で見たという方の相談も増加した。

（にじいろカフェ）

- ・ひきこもりの当事者・家族、関係機関を対象ににじいろカフェを各 5 回ずつ開催し、家族の会のべ 5 名・実人数 2 名、当事者の会のべ人数 7 名・実人数 2 名が参加した。
- ・カフェに参加された家族からご本人につながったケースもあった。現在もご本人と継続的なアプローチができるように家族ともかかわっているところである。

<家計改善支援事業>

- ・家計に課題を抱える相談者の相談に応じ、家計状況を明らかにし、家計再生プランをたて家計改善にむけた意欲を引き出す。家計表やキャッシュフロー表等のツール用いて家計の見通しを一緒に確認し、ご自身で家計管理ができるよう支援を行った。

① 相談者実人数 44 名（男性 23 名、女性 21 名）

② 家計再生プラン作成数 39 件（そのうちプラン更新者 13 名）

○支援内容別件数

- ・家計管理支援 29 件
- ・滞納解消・制度利用支援 23 件
- ・債務整理に関する支援 13 件
- ・貸付あっせん 17 件
- ・その他(就労支援、食料支援、転居支援など)27 件

<就労準備支援事業>

- ・相談者一人ひとりに合わせたメニューを作成し、生活自立支援として定期的な居場所活

動、社会的自立支援として就労体験やボランティア活動、就労自立支援として履歴書作成指導や職場見学などの支援を行った。

#### ○支援内容別人数

- ・生活自立支援 居場所活動 21 回実施、実利用人数 10 名（内、体験利用 3 名）、のべ人数 34 名
- ・社会的自立支援 活動 9 回実施、実人数 6 名（内、体験利用 4 名）、のべ人数 12 名
- ・就労自立支援 活動 7 回実施、実人数 2 名（内、体験利用 1 名）、のべ参加人数 2
- ・個別対応の実績としては、利用実人数が 7 名であった。うち、就労 4 名（介護職、食品製造業、農業、自動車部品製造業）、福祉的就労が 1 名、認定就労訓練事業が 1 名、社会参加機会の増大が 1 名となっている。

#### <学習支援事業>

- ・毎週火曜日 17:00～19:00 に中学生を対象に数学と英語の学習の機会を提供した。また、夏休み、冬休み、春休み期間中にも、学習支援を行った。
- ・生徒は 22 名の登録があり、年間のべ参加人数は 598 名（通常塾 39 回、夏休み自習室 9 回、冬休み自習室 11 回、春休み自習室 8 回、中 3 受験対策講座 32 回、中 1・2 土曜自習室 7 回、計 106 回）であった。
- ・支援員はコーディネーター 1 名、学習支援員 27 名（教員 0B や大学生ボランティア）で対応し、のべ参加人数は 591 であった。さらに高校受験する中学 3 年生の生徒 4 人に対し、受験対策集中講座を 32 回実施した。
- ・冬休み学習室から、新型コロナ禍の中オンライン指導も導入し、参加生徒は実人数 4 名、延べ参加人数 36 名であった。
- ・また、冬休み自習室からは学生ボランティアがメインの指導体制とし、ベトナムから北海道教育大学に留学している学生も 3 名参加した。特別学習として、3 月 6 日（土）には美術イラスト講座を、3 月 16 日（火）には総合的な学習「ベトナムを知ろう！（ベトナムの地理・歴史・文化のクイズ、伝統的な遊び実演）」を行った。

#### <一時生活支援事業>

- ・北広島市より委託を受けた（前年度は自主事業として実施）。住居のない方を対象に、一定期間に限り食住を提供しながら自立に向けて支援する。ほこしあ内の一室を利用。相談は 3 件あり、実際の利用は 1 名（83 日間）であった。

#### <食料支援>

- ・フードバンクぼすこから食料の提供を受け、食べ物に困っている方々（生活保護費受給までのつなぎ、技能実習生で、コロナで仕事がなく困窮している方など）に対して食糧支援を実施した。食料は千歳市にあるボランティア団体と連携し確保するほか、今年度は市内の農家等からもお声かけいただき野菜などを確保できた。
- ・配布のべ件数は 563 件となった。

#### <無料職業紹介事業>

- ・相談支援、就労訓練を経た相談者の次のステップとして、ぼるとでは一貫性を持った相談支援体制の構築している。
- ・今年度は、市内企業から4件、札幌市内の企業から1件の求人に対し、5件の雇用斡旋を行い、全て採用となった。

#### <認定就労訓練事業>（法人独自事業として、ハニカム・ホホエム・ほこしあで実施）

- ・今年度は1名の対象者について、ぼるとの就労訓練プログラムに基づき、ほこしあにて認定就労訓練事業を行った。清掃作業を継続的にこなし自信がもてた様子で次のステップを検討している。

### 8 福祉有償運送の実施

- ・居宅介護の利用時を中心に、登録車両4台により、利用登録者25名に、のべ277回の福祉有償運送を実施した。

### 9 法人独自公益事業<居住支援法人>の実施

- ・令和2年度の事業計画で相談支援体制のさらなる拡充に向け、国土交通省管轄の住宅確保配慮者居住支援法人の指定申請し、令和2年5月29日付で北海道知事より指定を受けた。
- ・同年9月1日より居住支援活動推進事業室より令和2年度居住支援法人活動支援事業の補助金交付を受けて事業展開を進めた。
- ・きたひろしま暮らしサポートセンターぼるとや、障がい者相談支援事業所ますとびいーと連携し、入居に係る相談や、入居後の見守り支援を中心に実施した。
- ・地域の相談体制の拡充や、より一層の住宅相談などに対するノウハウやスキル向上のため、法人内各事業所との連携、各相談事業所や居住関連団体との連携強化を進めた。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大の為、事業の啓発、関係機関との連携強化の取り組みや居住支援協議会加盟団体との情報共有を図るためのセミナーを開催する予定であったが中止とした。

#### ○相談内容（令和2年9月～令和3年3月）

- ・居住に関する相談 13件 内訳（住居探し解決5件）
- ・一般相談 4件 内訳（食料支援・北広島1件、札幌3件）
- ・緊急連絡 2件 内訳（北広島市2件、施設入所1件、入居時の緊急連絡先依頼1件）
- ・入居中の見守りサポート支援 1件 内訳（札幌市、ネットスーパー買い物支援、ATM払い出しサポート支援）

## 10 法人独自公益事業＜フードバンクぼすこ＞の実施

- ・令和2年9月より法人独自の事業としてフードバンクぼすこを立ち上げた。立ち上げと同時に中央共同募金会に第2回フードバンク活動等応援助成を申請し100万円の助成金支援を受け、初期活動に必要な備品（大型冷蔵庫）の整備と緊急食料の準備、活動時の移動車の燃料費、活動スタッフの人件費の補填を行った。
- ・令和2年9月からの本格的事業開始後、令和3年3月末まで延べ1852名の方々に食料支援を実施した。食糧の調達が出来ない期間もあり、この間は緊急用に購入した食品の配荷にて対応した。
- ・食品を寄贈いただいた協力企業、団体は6団体で協力延人数は41企業・団体となっている。
- ・食糧の配荷については、3ヶ月を目途として支援しているが、期間内で支援終了は難しい状況が続いている。

## 11 法人独自公益事業＜青色防犯パトロール＞の実施

- ・令和2年度も、北広島市全域において青色防犯パトロールの活動をおこなった。また、市役所から不審者情報の提供があった場合、特にその地域を重点的にパトロールし、不審者の出没の抑制に努めた。

### 令和2年度実績

月	実施回数	のべ参加人数	備考（パトロール中に得た情報等）
4	21回	42人	4/6、4/8、4/12市より不審者情報の提供あり
5	20回	40人	特に異常なし
6	20回	40人	特に異常なし
7	21回	42人	7/29市より不審者情報の提供あり
8	20回	40人	8/20市より不審者情報の提供あり
9	22回	44人	特に異常なし
10	21回	42人	10/10、10/23市より不審者情報の提供あり
11	18回	36人	特に異常なし
12	20回	40人	12/14市より不審者情報の提供あり
1	15回	30人	1/15市より不審者情報の提供あり
2	18回	36人	2/5市より不審者情報の提供あり
3	19回	38人	特に異常なし
計	235回	470人	

## 12 被虐待障がい者の地域生活支援調査研究事業への参画

- 札幌こころのセンターから NPO 法人わーかーびーが受託している上記研究事業に参画し、支援者を派遣するとともに、こころのセンター等で開催された会議等に関係職員を派遣した。

## 13 札幌市委託相談関係事業公募型企画競争への参加と受託決定

令和 3 年度からの札幌市委託相談関連事業の受託に向け、札幌市の公募型企画競争に応募し、下記の事業について令和 3 年 4 月 1 日より受託することになり、事業の実施にむけての準備をすすめた。

事業は以下のとおり。

- ①札幌市障がい者相談支援事業所実施業務（厚別区）
- ②休日虐待通報等受付、緊急受入先調整・一時保護業務
- ③札幌市地域ぬくもりサポート事業（厚別区・白石区・東区）

## 14 各事業所の事故対応状況について

<令和 2 年度の事故等対応報告集計について>

	ハニカム	ホホエム	ともっと	ほこしあ	はっち	合計
ケガ・転倒	1 件	1 件	0 件	3 件	2 件	7 件
物損	3 件	3 件	1 件	0 件	1 件	8 件
服薬	1 件	2 件	4 件	3 件	0 件	10 件
苦情・その他	2 件	0 件	1 件	2 件	3 件	8 件
ひやりはっと	1 件	1 件	0 件	6 件	2 件	10 件

## 15 各事業所の避難訓練ならびに非常災害に向けた取り組みについて

- 令和 2 年度は各事業所において、引き続き火災想定や地震を想定した避難訓練を実施。今後非常災害には、新型コロナウイルスなどの感染症災害の対応についてのマニュアル策定が求められているので、今後対応する。

<各事業所の避難訓練状況>

○ハニカム ～令和 2 年 7 月 22 日 令和 2 年 11 月 12 日

○ともっと

・あっと ～令和 2 年 8 月 23 日 令和 2 年 11 月 17 日

・もっと ～令和 2 年 9 月 8 日 令和 2 年 11 月 18 日

・ソレイユ～令和 2 年 8 月 30 日 令和 2 年 11 月 25 日

・きらっと～令和 2 年 7 月 13 日 令和 2 年 10 月 19 日

- ・とっとり～令和2年8月24日 令和2年11月24日
- ・とっとり2号館～令和2年8月27日 令和2年11月26日
- ホホエム ～令和2年7月20日 令和2年11月13日
- ほこしあ ～令和2年7月13日 令和2年10月19日
- はっち ～令和3年3月20日

## 16 法令遵守、各種マニュアルの見直しと事故防止に向けた取り組み

- ・令和2年度は、新型コロナウイルスに対応した、職員向けのガイドライン作成や緊急事態宣言下での職員ルール策定を行い、各事業所でガイドラインやルール順守に努めた。令和元年度以降採用の職員向けに服薬事故防止に向けた研修を開催した。

## 17 人権擁護・虐待防止への取り組み

- ・令和元年度から持ち越していた、虐待防止研修について、感染予防対策を講じながら未実施分の研修を実施した。
- ・身体拘束ゼロへの取り組みとして、ほこしあでは令和2年度に2回実施した。1回目は「身体拘束」に関わる動画を視聴し振り返りを行い、2回目は「スピーチロック」をクローズアップし、資料をもとに理解を深めた。

## 18 個別支援計画に基づく支援の充実と説明の機会の充実

- ・令和2年9月の面談に関しては、新型コロナウイルス感染予防の観点から、各家族へ個別支援計画を郵送し、書面でのやり取り確認で対応した。
- ・令和3年3月には、個別支援計画に基づく支援の充実を図る為に、計画の策定、モニタリング、面談を実施した。面談に関して、新型コロナウイルス感染拡大の観点から、面談時の密集を避ける為、令和3年3月3日(水)～令和3年3月12日(金)の10日間と定め長期で開催した。また、ZOOMの活用、開催場所や開催時間を事前に家族を相談し密を避けて開催した。期間内で面談希望がある家族に関しては、別日程を設けて開催した。

## 19 理事会の開催

日時	出席理事 監事	議事・報告事項
令和2年6月15日 (書面評決)	理事6名 監事2名	<議事> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度事業報告書(案)について</li> <li>・令和元年度収支決算書(案)について</li> <li>・令和元年度社会福祉充実残額の算定について</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度定時評議員会の収集について</li> <li>・経理規程の改定について</li> <li>・テレワーク規程の制定及び就業規則の改定について</li> <li>・居住支援法人指定による、住宅確保要配慮者への居住支援業務開始に伴う、主たる事務所の賃貸借契約について</li> </ul> <p>&lt;報告事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度監査報告について</li> <li>・前回報告以降の道への事故報告について</li> </ul>
令和2年8月21日	理事5名 監事2名	<p>&lt;議事&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度第1次補正予算（案）について</li> <li>・札幌市障がい者相談支援事業等の事業受託に向けて</li> <li>・無料職業紹介事業の名称変更について</li> </ul> <p>&lt;報告事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前回報告以降の道への事故報告について</li> <li>・理事長の業務執行状況報告</li> </ul>
令和2年9月11日 (書面評決)	理事6名 監事2名	<p>&lt;議事&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定一般相談支援事業所新規指定手続きに伴う定款変更認可申請について</li> <li>・令和2年度第2回評議員会の招集について</li> </ul>
令和2年12月23日 (書面評決)	理事6名 監事2名	<p>&lt;議事&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経理規程改定について</li> <li>・令和2年度第2次補正予算（案）について</li> <li>・育児・介護休業規程の一部改定及び就業規則・専任職員就業規則・非常勤職員就業規則の一部改定について</li> </ul> <p>&lt;報告事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前回報告以降の道への事故報告について</li> <li>・理事長の業務執行状況報告について</li> </ul>
令和3年2月15日 (書面評決)	理事6名 監事2名	<p>&lt;議事&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・被虐待障がい者の地域生活支援調査研究事業の受託について</li> <li>・札幌市障がい者相談支援事業等の事業受託に伴う定款変更認可申請について</li> <li>・令和2年度第4回評議員会の招集について</li> <li>・きらっと短期入所の事業廃止について</li> </ul> <p>&lt;報告事項&gt;</p>

令和3年3月26日 (書面評決)	理事6名 監事2名	<p>&lt;議事&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度事業計画(案)について</li> <li>・令和3年度当初予算(案)について</li> <li>・相談室ますとびいー事業所開設に伴う主たる事務所の賃貸借契約について</li> <li>・相談室ますとびいーの事業開設に伴う公用車の譲受について</li> <li>・経理規程の一部改定について</li> <li>・事務局長の任免について</li> <li>・理事長の報酬額の変更について</li> </ul> <p>&lt;報告事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理事長の業務執行報告について</li> </ul>
---------------------	--------------	---

## 20 評議員会の開催

日時	出席評議員	議事・報告事項
令和2年4月27日 (書面評決)	7名	<p>&lt;議事&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・居住支援法人の事業指定に伴う、定款変更認可申請について</li> </ul>
令和2年6月22日 (書面評決)	7名	<p>&lt;議事&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度事業報告(案)について</li> <li>・令和元年度収支決算報告書(案)について</li> <li>・令和元年度社会福祉充実残額の算定について</li> </ul> <p>&lt;報告事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度監査報告について</li> </ul>
令和2年9月18日 (書面評決)	6名	<p>&lt;議事&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定一般相談支援事業所新規指定手続きに伴う定款変更認可申請について</li> </ul>
令和3年2月22日 (書面評決)	6名	<p>&lt;議事&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・札幌市障がい者相談支援事業等の事業受託に伴う定款変更認可申請について</li> </ul>

## 21 監事監査の実施

監査実施日	出席監事	内容
令和2年7月14日	細川監事	第1四半期会計監事監査
令和2年9月7日	丸山監事	法人の業務状況について聞き取り
令和2年11月19日	丸山監事	法人の業務状況について聞き取り

令和2年11月16日	細川監事	第2四半期会計監事監査 (zoom)
令和3年3月8日	丸山監事	法人の業務状況について聞き取り
令和3年5月24日	細川監事	第3四半期会計監事監査 (zoom)
令和3年5月27日・6月1日	細川監事	第4四半期会計監事監査・令和2年度会計監事監査 (zoom)
令和3年6月8日	丸山監事	令和2年度業務監事監査 (zoom)

・丸山監事には、9月・11月・3月にえパレット委員会に参加頂いた際に、法人の業務状況について、聞き取りしていただき、6月に年度分の業務監事監査を zoom にて行って頂いた。

## 22 第三者委員活動の実施

<委員名簿>

今井 明日香 委員 (弁護士)

大西 登志子 委員 (民生委員・児童委員)

佐々木 明美 委員 (北海道ハイテクノロジー専門学校 教育顧問)

開催日	出席者	内容
令和2年9月8日	第三者委員3名、 法人職員9名	令和2年度の活動、事故報告、第三者委員より
令和2年12月14日	第三者委員2名、 法人職員9名	事業所訪問について、事故報告、第三者委員より

## 23 法人各種業務の常勤理事の所管業務の明確化

- ・令和元年10月から、常勤理事の法人の業務について役割分担を明確し、令和2年度も引き続き、業務分担の中で、それぞれの業務の進行状況について確認している。  
次年度は理事改選のため、業務について引継ぎ所管業務の明確化を継続していく。

## 24 えぼっくホームページの全面リニューアルについて

- ・令和2年5月に法人のホームページを全面リニューアルし、法人の活動について、タイムリーに発信することに努めた。また Facebook との連動を図ることにより、新卒学生にもえぼっくの取り組みがわかりやすく簡単に伝わる形とした。また、ベトナムからの技能実習生が在籍していることから、ベトナム語版のホームページも活用し情報発信を行っている。

## 25 法人内研修・会議の開催

<八丁平共生型センターはっち介護技術研修>

講師 松本 未香 氏 (株式会社しーぼーと代表取締役)

○ろぐらん利用者の介護技術研修

令和2年6月23日	令和2年8月25日	令和2年10月22日
令和2年12月1日 (zoom)	令和2年12月25日 (zoom)	令和3年1月11日 (zoom)
令和3年2月5日 (zoom)	令和3年2月12日 (zoom)	令和3年3月29日 (zoom)

○があだばーとでの介護技術指導

令和2年7月10日	令和2年8月7日	令和2年10月9日
令和2年11月6日		

○技能実習生への介護技術指導 (すべて zoom で実施)

令和2年12月17日	令和2年12月25日	令和3年1月7日
令和3年1月21日	令和3年2月4日	令和3年2月18日
令和3年3月4日	令和3年3月18日	

<虐待防止研修>

- ・令和2年7月4日～相談支援職員向けに実施
  - ・令和2年9月12日～令和元年未受講者向けに実施
- 講師 弁護士法人カント 弁護士 塚谷 翔 氏

<身体拘束ゼロに向けたほこしあでの取り組み>

- ・令和2年12月25日～身体拘束適正化研修
- ・令和3年3月26日～身体拘束適正化研修

<交通安全研修>

- ・令和2年8月8日・22日・28日の3回に分けて実施。
- 講師 有限会社オフィスブレイン 代表取締役 佐々木 厚史 氏

<新規採用職員研修会>

- ・令和2年9月12日～令和元年度以降採用職員向けに実施
- 内容：「法人の事業について」「服薬事故防止」

## 26 感染症対策委員会の開催

- ・新型コロナウイルスの感染者が北海道で発生した当初から、感染症対策委員会を立ち上げ、コロナ禍の中での、感染予防対策を講じていく為、利用者、ご家族向けに感染予防対策の取り組み周知、協力依頼や、職員向けにも感染予防の意識の向上、継続を目的として周知活動に取り組んだ。

#### <委員名簿>

- ・委員長 黒川 浩太（地域生活支援センター センター長）
- ・委員 加藤 真姫（グループホームほこしあ 副施設長）
- ・委員 酒井 美弥（きたひろしま暮らしサポートセンターぽると 相談員）
- ・委員 長尾 加奈子（地域生活支援センター 主任）
- ・委員 相馬 衿奈（ハニカム支援員）
- ・委員 西川 順子（八丁平共生型センターはっち 看護師）
- ・委員 西村 雅之（ホホエム支援員）
- ・事務局 濱守 雅弘（法人事務局部長）

#### <感染症対策委員会>

開催日	内容
令和2年4月2日	第1回委員会、各所定例報告、利用者様・職員向け文書発信
令和2年4月14日	第2回委員会、利用者様の通所先1本化など感染対策を協議
令和2年5月7日	第3回委員会、各所定例報告、利用者様・職員向け文書発信
令和2年5月28日	第4回委員会、会議のオンライン化実施
令和2年6月25日	第5回委員会、各所定例報告、利用者様・職員向け文書発信
令和2年9月24日	第6回委員会、インフルエンザ対策、利用者様・職員向け文書発信
令和2年10月8日	第7回委員会、各所定例報告、利用者様・職員向け文書発信
令和2年11月5日	第8回委員会、ノロウイルス対策、利用者様・職員向け文書発信
令和2年11月19日	第9回委員会、感染対策として制服の取り扱いについて
令和2年12月15日	第10回委員会、感染対策として、コート等の取り扱いについて
令和2年12月25日	第11回委員会、コロナウイルス対策ガイドラインの見直し
令和3年1月8日	第12回委員会、各所定例報告、利用者様・職員向け文書発信
令和3年2月16日	第13回委員会、各所定例報告、利用者様・職員向け文書発信
令和3年3月16日	第14回委員会、各所定例報告、嘔吐物処理研修について

## 27 えパレット委員会の開催

- ・昨年度から引き続き、中堅職員が中心となって、元年度からの継続した取り組みとして法人理念の各事業所掲示や、職員間・事業所間のコミュニケーションの課題解決のための方策について議論を行った。

#### <委員名簿>

- ・委員長 吉田 圭介（グループホームほこしあ 主任）
- ・委員 黒川 浩太（地域生活支援センター センター長）
- ・委員 濱守 雅弘（法人事務局 部長）
- ・委員 高丸 真央（ハニカム 主任）
- ・委員 吉田 圭佑（地域生活支援センター 主任）
- ・委員 酒井 美弥（きたひろしま暮らしサポートセンターぽると 相談員）

- ・委員 田中 昌太 (ホホエム 支援員)
- ・オブザーバー 丸山 正三氏 (えぼっく 監事)

<えパレット委員会>

開催日	内容
令和2年9月7日	第1回委員会、委員長の選任、今後の活動内容について
令和2年11月9日	第2回委員会、法人理念を全職員が共有する、情報の共有化 (iPadの活用等)
令和3年1月18日	第3回委員会、法人理念の掲示について、その作成方法、情報共有について
令和3年3月8日	第4回委員会、法人理念掲示の進捗、記録ソフト・iPadの活用方法について

## 28 外部研修への参加

- ・令和2年度は、新型コロナウイルス感染予防対策により、外部研修については、ほとんどが zoom 等での受講となっている。

開催日	会議名等	人数
令和2年9月28日～12月17日	令和2年度相談支援従事者研修 (初任者研修)	1名
令和2年6月27日～28日	STS 運転協力者講習会	3名
令和2年7月10日	北海道サービス管理責任者研修	1名
令和2年6月19日	技能実習責任者講習	1名
令和2年8月12日	技能実習責任者講習	1名
令和2年8月19日	総務・労務管理専門研修	1名
令和2年7月31日	令和2年度第1回南幌町障がい者自立心協議会	1名
令和2年12月8日～12月25日	相談支援従事者研修 現任研修	1名
令和2年7月～11月	令和2年度北海道介護支援専門員更新研修	1名
令和2年8月26日	令和2年度成年後見制度促進体制整備に向けた学習会	1名
令和2年10月31日～11月1日	精神保健福祉士実習指導者講習会	1名
令和2年10月14日	「やさしい日本語」を学ぼう	2名
令和2年9月～令和3年3月	介護職員初任者研修	7名
令和2年10月26日～27日	人事・労務管理講座	3名
令和2年11月23日～24日	技能実習生面会	1名
令和3年2月5日～12日	社会福祉士実習指導者講習会	1名
令和3年2月8日	社会福祉法人会計実務者決算講座	3名
令和3年2月25日～3月31日	経理担当者専門研修	1名
令和3年3月1日～31日	介護職員初任者研修	1名

## 29 地域の行事への積極的参加、ボランティアの受け入れの推進

### ① 地域の行事への参加

- ・地域行事等へ積極的に参加を継続し地域との関係づくりに努めた。  
ほこしあでは、参加予定していた地域行事が中止になった為、行っていない。

### ② ボランティアの受け入れ

- ・フードバンクぼすこでの食料仕分け（毎週水曜日）において、ボランティアの協力を得ることができた。

また、フードバンクぼすこ創設企画として、仲間、応援者の集いの開催にあたり、クッキーとおにぎりの軽食をボランティアの協力により用意することができた。

- ・新型コロナウイルスの影響により、母国に帰国することが出来ないういたベトナム留学生に週2回、有償ボランティアによる日本語学習をおこなった。

## 30 外国人技能実習生受け入れ並びに生活支援等

- ・外国人技能実習制度を活用しての、技能実習生受入れについては、新型コロナウイルス感染の影響で2期生の入国が大幅に遅れた。
- ・技能実習生の生活支援については、受入れ事業所が5事業所となったことから、法人内での情報共有と統一的な生活指導を進めるため、委託外部バックアップ会社と管理者、生活支援担当者による会議を定期的で開催することとした。また、日本語能力試験N3合格に向け、委託による法人独自の日本語学習指導や日本文化を学ぶ茶道の体験もおこなった。

### ①技能実習（2期生）の受入れ

- ・令和2年12月11日 八丁平共生型センターはっち1名
- ・令和3年2月2日 ハニカム1名
- ・令和3年2月8日 ホホエム1名 ともっと1名

### ②生活支援の体制など

- ・実習生の住まいを確保するため、札幌市厚別区上野幌の住宅の借上げの継続と部屋の追加借上げをおこなった。また、室蘭においては民間アパートを借上げ、ハニカムでは、施設2階の改修を行い整備した。
- ・生活面の情報共有を図るため、委託外部バックアップ会社と管理者、生活支援担当者による会議を令和3年2月から定期的で開催した。
- ・日本語能力試験N3合格に向け、法人独自の日本語学習を毎週月曜日と第2,4土曜日に開催した。
- ・新型コロナウイルス感染対策や緊急事態宣言の内容について、技能実習生に通訳を介して情報の提供と学習をおこなった。
- ・日本文化の体験のため、茶道教室を令和3年2月14日（日）裏千家の講師を招いておこなった。

### 31 令和2年度えぼっく年間利用実績

- ・別添令和2年度えぼっく年間利用実績参照。